

2023年10月3日

議会改革特別委員会

委員長 綿引 健 様

日本共産党水戸市議団 田中 真己

土田紀代美

中庭由美子

水戸市議会の議会改革に関する提案

日頃よりお世話になっております。議会改革については、全国の議会で様々な取り組みが実施されてきた中、水戸市議会は「議会改革ランキング」で下位に低迷しており、下記事項について速やかに実行していくことを求めて提案といたします。どうぞよろしくお願い致します。

1. 議会基本条例について

(ア) すみやかに議会基本条例を制定する。

(イ) 議会活動の質の向上へ毎年自己評価を行い、4年に一度は第三者や市民の評価をうける。評価結果を公表する。

2. 本会議の質問の改善について

(ア) 1人の持ち時間30分制限を改善する。概ね1人60分程度とするか答弁時間を含めない、もしくは第1回、第3回定例会の30分加算の通年化など、十分な質問時間を確保する。

(イ) 再質問にくわえて、再々質問を認める。

3. 常任委員会、特別委員会について

(ア) 常任委員会、特別委員会などで、傍聴者に資料を配布する。

(イ) 特別委員会については常任委員会同様に事前に議題を提示する。

(ウ) 特別委員会について常任委員会同様にネット中継、動画を公開する。

(エ) 常任委員会、特別委員会ともに議員に対して事前に資料を配布する。

(オ) 予算特別委員会を設置する。

(カ) 決算特別委員会の質問時間を増やす。質問通告以外の資料請求を認める。請求資料を事前に配布し必要に応じて市の説明を受ける。

(キ) 委員会の傍聴者数を増やす。

4. 議案に対する賛否の公表について

(ア) 各議員の議案等に対する賛否の態度について公表する。(県議会は実施済)

5. 請願陳情・意見書について
 - (ア) 請願陳情について提出者が希望するとき、又は必要があるときは説明の機会を設ける。
 - (イ) 請願陳情への賛否について本会議で討論を行う。
 - (ウ) 意見書案について提案理由の説明および賛否に対する討論を行う。

6. 市民参加について
 - (ア) 市民の意見を反映させるため、市民参加の政策モニターや、議会報モニターなどを導入する。
 - (イ) 委員会としての議会報告会や市民との懇談会を実施する。

7. 正副議長選挙について
 - (ア) 正副議長選は、議会改革など議会運営に関する所信表明や質疑を実施したうえで選挙を行う。

8. 情報発信の拡大、インターネットの活用について
 - (ア) 議案書のほか議案審査資料についてインターネットで事前公開する。
 - (イ) 議会ウェブサイトを充実する。
 - (ウ) 録画公開を迅速に行う。
 - (エ) SNSを活用した議会情報の発信の充実として、ライン公式、X（旧ツイッター）、フェイスブック、YouTubeチャンネル等の活用を検討する。
 - (オ) 議会視察の報告をインターネットで公開する。

9. 政務活動費について
 - (ア) 政務活動費の利用状況の透明性向上のため、収支報告書・会計帳簿・領収書をインターネットで公開する。